

【巻頭言】

学友会総会は京都で開催

副実行委員長 青木 彰(短大1回生)

2015年元日、日本付近は冬型の気圧配置が強まり、日本海側は大雪・猛吹雪、東海から西の太平洋側平野部でも積雪を認めました。京都でも元日に続き、2日夜も大雪に見舞われ、京都市内では58年ぶりに積雪21センチを観測し、積雪記録を更新したそうです。特に金閣寺、嵐山などはその景色が話題となり、金閣寺では鏡湖池が凍て付き神秘的な光景を現しました。

そんな幕開けで始まった今年5月末、母校のある京都の地に於いて、学友会総会を開催いたします。京都での学友会総会は4年ぶりの開催です。学友だより前号でもご案内させて頂きましたが、5月30日(土曜日)14時より京都ホテルオークラにて開催いたします。遠方からの日帰り参加を考慮して、全プログラムを19時終了といたしました。(もちろん、同窓会、二次会、飲み会も企画可能です。)

今回の講演は、福岡での学友会総会で実現できなかった、京都教育大学 教育学部数学科教授 黒田恭史先生に再度お願いしました。先生は、ブタの飼育を通じて「いのち」の大切さに気付く小学生の感動ドキュメント『豚のPちゃんと32人の小学生—いのちの授業900日』(ミネルヴァ書房)の著者で、本書は2008年に『ブタがいた教室』(監督:前田 哲、主演:妻夫木 聡)として映画化されました。また、『脳科学の算数・数学教育への応用』、『数学科教育法入門』等の著書も上梓されています。(黒田恭史先生 ホームページ <http://math.kyokyo-u.ac.jp/~kuroda/prof.html>)

1927年に島津レントゲン技術講習所として創立された母校は、専門学校、短期大学と歴史を重ね、2007年に京都医療科学大学として開学し、今年3月には大学5回生が卒業する事になりました。母校を卒業された皆様のほとんどが医療という環境の中で活躍されていることと思います。その医療現場では医学の進歩に伴い、患者さんを1人の医師が診る形態から、多種多様な細分化された職種の専門家が連携し、治療やサポートを進めていくチーム医療が行なわれるようになりました。チーム医療は、それぞれが対等な立場に立ち、的確な役割分担とスムーズな連携で患者さんに関わる事で、お互いの専門性をより発揮し医療の質を高めます。そのためには自己満足のためではなく、知識や技術を積極的に吸収しチームとして目的や情報を共有し合える場が必要です。技師の間でも同様の環境の構築が重要になります。

また、職場は皆様の限られた人生の大部分を占める場となります。人生はあたかも真っ白いキャンパスに絵を描いているようなものです。バランスの取れた良い絵に仕上げるには、描く部分だけを見るのではなく、キャンパス全体に視野を広げ、描く物一つ一つにその構想の中での位置付けを与え描いていく事が重要です。つまり納得できる人生に仕上げるには、目先の事に一喜一憂しながらその時の都合だけで行動するのではなく、常に視野を広く持ち、全体の中での位置付け、大きな流れを意識しながら行動する事が大切だと思います。

学友会は幅広い世代の参加によって創り上げられます。今年の学友会総会を、情報を共有し合える場、人生の視野を広げる場、大学を卒業された若い会員が、気軽に先輩後輩の間で、何でも話せる懇親の場として盛り上げていただければ幸いです。

学友会会員の皆様を、総会実行委員および本部役員一同お待ちしております。

以上

